

## 12月議会で可決した国の地方創生臨時交付金事業 (新型コロナウイルス感染症対策)

### プレミアム付き商品券

「將軍藤小判」の追加発行  
追加発行額1億円、プレミアム率20%  
令和3年3月に事前予約による抽選販売を実施予定

### コミュニティセンター等の

Wi-Fi環境整備  
コミュニティセンター、生涯学習センター、人権啓発センター等におけるWi-Fi機器の整備

### デマンドタクシー

#### 導入実証実験

令和3年3月の1ヶ月間、立石、御原、味坂校区において、一般タクシー会社の車両を活用しデマンド型交通導入の実証実験を実施

### 私立保育園等の環境整備補助

新型コロナウイルス感染症対策として環境整備を行う市内の私立保育園10園、小規模保育園2園に対し、1施設あたり50万円を上限として補助

### スマート農業機械

#### 導入への支援

土地利用型農業者に対し、農業用ドローンの購入にかかる経費を支援

### 就学援助費の拡充

就学援助を受けている世帯を対象に、小学6年生1人あたり1万5千円、中学3年生1人あたり3万円を追加支援

### 学校生活における

#### 思いづくり支援

市内小中学校に対し、感染症対策を行ったうえで、自然体験や文化芸術体験等を実施するための経費援助

### 修学旅行取消料の負担

市内中学校を対象に新型コロナウイルス感染症拡大等の影響で修学旅行が中止となった場合の生徒に係るキャンセル料を負担



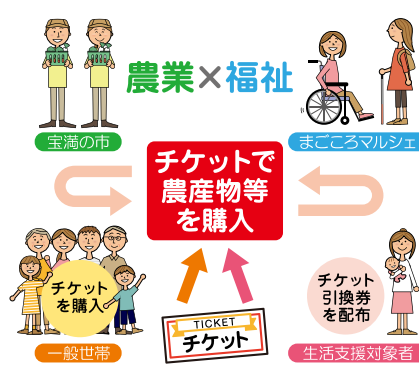
### 農福連携での

#### 新型コロナウイルス生活支援

① 「宝満の市」や「まごころマルシェ」で農産物等が購入できるチケットを発行。事業宣伝チラシの作成等、事業の一部は障がい福祉事業所に委託

② ひとり親世帯臨時特別給付金受給世帯、緊急小口資金及び総合貸付申請者、住居確保給付金受給者を対象に、3千円分のチケット引換券を配布(400世帯)

③ 一般世帯を対象に5000円分のチケットを4000円で販売(400セット)



### 議場における新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みとして、昨年の9月定例会においては、議場の一部(議長席、演壇、質問席)にアクリル板を設置しました。

12月定例会では、議席(議員と議員の間)や執行部席にもアクリル板を追加で設置し、感染症拡大防止の取り組みをさらに強化し、議会を開会しました。



# 第5次小郡市総合振興計画の変更について (議案第51号)を賛成少数で否決

市の最上位計画である第5次小郡市総合振興計画※(以下、「第5次計画」という)の期間が令和2年度末で終了することから、第6次小郡市総合振興計画(以下、「第6次計画」という)が令和2年度中に提案される予定でした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度中に第6次計画を策定することが難しいとして、第5次計画の期間(平成23年度から令和2年度までの10年間)を2年間延長し、令和4年度までに変更する議案を提出されましたが、討論後に採決を行った結果、賛成少数(賛成8、反対9)で否決されました。(賛否は16ページ参照)

### ※総合振興計画とは…

長期的な展望に基づいて、都市づくりの将来目標を示すとともに、市政を総合的・計画的に運営するため、各行政分野における計画や事業の指針を明らかにするものであり、市政運営の最も基本となるものです。

### 執行部の提案理由

令和2年度末に第5次計画の期間が終了することから、令和元年度から二か年をかけて策定するため、各課ヒアリングや市民アンケートを実施し、第5次計画の検証や第6次計画の検討を行ってまいりました。

しかしながら、令和2年度に入り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民の意見を聴く場である市民ワークショップ等の開催が困難な状況となりました。

併せて市民の価値観や社会情勢も大きく変わることが想定されることから、終息後の状況を一定見据えることができる時期に、改めて策定することが望ましいと判断し、第5次計画の期間を令和4年度まで2年間延長するものです。

本議案については、採決の前に反対討論・賛成討論が行われました。概要は次のとおりです。

### 反対討論

県内には小郡市同様、令和2年度に計画期間が終了する自治体が6つありますが、4つの自治体は予定どおりに今年度中に策定されます。また、残りの2つの自治体に関しては、もともと昨年と今年共に策定作業に着手しておらず、新型コロナウイルス感染症を理由に延期したのは小郡市だけです。

●総合振興計画は、市における将来を展望するための政策の根幹であり、大きな指針となるもので、総合振興計画の策定を2年も延期することは、市の今後の様々な事業に対する悪影響が考えられます。

●新型コロナウイルス感染症の影響による財政問題や市民の生活様式の変化については十分理解できますが、行政課題が多い中で期間延長として

### 賛成討論

2年は長すぎるため、今回の提案を取り下げて早期に第6次計画を策定すべきです。近年の災害など市民の方は大変不安に思われており、市民が安全で安心して暮らせるよう、第6次計画を早期に策定すべきです。

●コロナ禍でも総合振興計画を策定する市町村はありますが、総合振興計画は、市独自の計画です。新型コロナウイルス感染症で大きく変化した市民の意識、価値観を取り入れることは最も重要です。2年間延長して、第5次計画を検証するとともに、議会と協議を重ね早期に市の最上位計画である第6次計画を策定すべきです。

※詳細は、小郡市ホームページ内、「小郡市議会本会議インターネット中継」から録画映像をご覧ください。